

ねぶせパーフェクト取扱説明書

セル盤(盤面)傾斜の設定準備

1. パチンコ台のガラスドアを開け、ねぶせパーフェクトを2台(乃至3台)設置する(写真-1)。



写真-1

※高さは、ぶっこみ入口の釘。

- ・3本使い: 左右の端の釘と天釘。
- ・2本使い両面ゲージ: 左右の端の釘。
- ・2本使い片面ゲージ: 左端の釘と天釘。

※ねぶせパーフェクト設置の注意点

1. 上部

ねぶせパーフェクト上部ストッパー(バネ入り)を手前側に押し(写真-2)、釘の傘に乗せる(写真-3)。

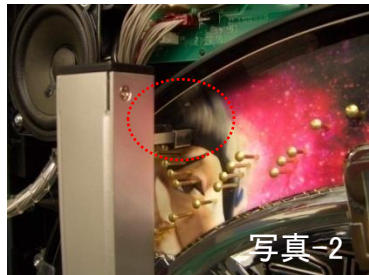


写真-2



写真-3

3. 最終準備

ねぶせパーフェクトの下部足を盤面に数回当て、気泡の動きをスムーズにする。

2. 下部

稼動足を上下させ、役物や盤面の凹凸を避けた場所に足を当てる(写真-4)。

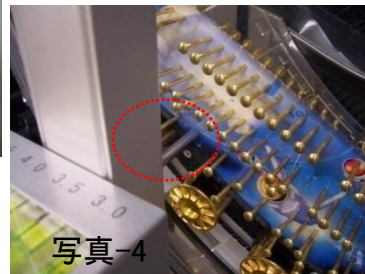


写真-4

セル盤(盤面)傾斜の設定

1. ねぶせパーフェクトの気泡管部を真上から覗き込み、六角レンチで傾斜を設定する(写真-5/6)。



写真-5

※傾斜が設定出来ないとき。。。

複数回パチンコ台を入替えると、遊技台の筐体の面出し等の影響で傾斜が設定出来なくなる場合が発生する。その場合は、一度、左右の傾斜を**起こしきる(反時計回り、目一杯まで回す)**、若しくは、**寝かしきる(時計回り、目一杯まで回す)**状態まで戻し、傾斜の再設定を行う。

※傾斜設定の注意点(正確なセル盤(盤面)を設定する為には・・・)

- ・左側から設定する場合は、左側→右側→左側、と三回にわたって、設定作業を行って下さい。但し、片側のみ回し切る、と機構自体が壊れる可能性がありますので、左右バランスよく、操作して下さい。
- ・六角ハンドル操作後、ねぶせパーフェクト下部足を盤面に数回当て、気泡管が上下の線の中に落ち着くまで、数秒の時間をとる。
- ・多変量解析等の手法を用いて、検証を行い、再現性のある、且つ、科学的根拠に基づいた、よりよい、オペレーションを見つける為には、必ず、記録書へ傾斜の測定値とピッチを記録して下さい。

※右は、設定セル盤(盤面)傾斜が3分5厘(写真-7)

2. 傾斜を起こす(例: 4分5厘→3分)場合⇒六角レンチを反時計回りに回す。

傾斜を寝かす(例: 3分→4分5厘)場合⇒六角レンチを時計回りに回す。

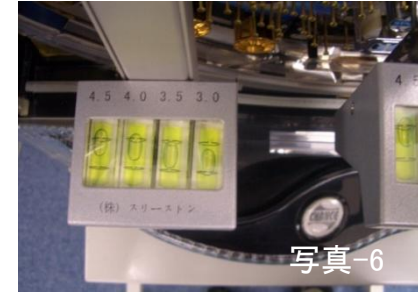


写真-6

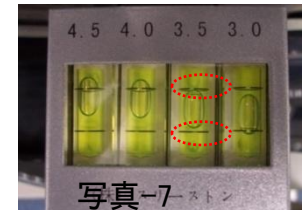


写真-7